

地域社会への貢献

新光電気グループは、社員が大切にすべき価値観であるバリューに「温かさ」を掲げ、誠実で真摯な姿勢を常に忘れず、人・社会・環境に配慮した事業活動を展開しています。

また、世界中のさまざまな国や地域において、社会と密接にかかわりながら事業活動を行っていることを念頭におき、常に社会・環境に目を向け、一人ひとりが行動してまいります。

地域に根差した貢献

地域との共生

新光電気グループは事業活動を通じて地域社会との共生をはかるとともに、創業以来雇用の維持・安定と新たな雇用機会の創出に取り組んでまいりました。

今後も地域の皆様から信頼され、必要とされる企業を目指すとともに、事業活動および地域活動を通じて地域社会へ貢献してまいります。

栗田総合センター

かつての本社工場であった栗田工場は、1957年（昭和32年）の開設以来約半世紀にわたり、主力工場として数々の製品を市場に送り出してきました。工場開設当時は、周囲一面に水田が広がるのどかな環境でしたが、その後急速に開発が進み、住宅等が立ち並ぶ環境へと大きく変貌を遂げたことに伴い、地域社会との共生をはかるため、工場をすべて取り壊し、2004年（平成16年）豊かな緑に包まれた「栗田総合センター」として再整備されました。

それ以来、栗田総合センターは、春の桜や秋の紅葉等、道行く人々が四季折々の自然の息吹を感じることができる、地域における憩いの場となっています。



（栗田総合センター）

交通安全の街頭啓発活動

「全国交通安全運動」に合わせて、交通安全の街頭啓発活動を実施しています。特に、地域の小学生が安全に登校できるよう、声を掛けながら見守り活動を行い、子供の交通事故防止に取り組んでいます。今後も交通事故ゼロ社会の実現に向け、地域の皆様と一丸となって、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践に取り組んでまいります。



（交通安全街頭啓発活動（新井工場））



（交通安全街頭啓発活動（京ヶ瀬工場））

工場周辺美化活動

当社は、毎年6月に実施する環境月間を中心に、工場周辺においてゴミ拾い等の美化活動を行っています。今後も工場周辺地域の美しい環境が次世代に引き継がれるよう、地道に活動を行ってまいります。



(更北工場)



(高丘工場)



(若穂工場)



(千曲工場)

地域環境保全活動

森林(もり)の里親促進事業

長野県が推進する「森林(もり)の里親促進事業」を活用し、飯綱町と協働して、霊仙寺湖周辺の町有林における森林整備を継続的に進めています。2014年10月に「森林の里親契約」を締結して以降、労働組合との共催により、毎年春と秋の年2回を基本に森林整備活動を実施しており、2026年5月までに、通算22回の活動を重ねてきました。

2025年度には延べ約180名が参加し、5月にはコナラの苗木の植樹や遊歩道整備、10月には下草刈り等を行いました。また、2026年5月の活動では、当社社員とその家族を合わせて約80名が参加し、コナラの苗木500本の植樹を実施しました。

地域に根差した企業として、今後も地域の皆様と連携しながら、持続的な森林づくりを推進し、豊かな自然資源の保護を通じて地域社会へ貢献してまいります。



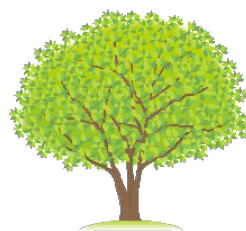
(植樹活動 (5月))



(下草刈り (10月))

切手の回収・寄付

当社では切手を回収し、植林活動のための基金に寄付を行っています。過去にはプリペイドカードや書き損じはがき等の寄付も行っており、2005年7月から始まった寄付活動により、2025年度末までに1,051本の苗木に相当する分を回収・寄付しました。



青少年育成支援活動

工場見学、インターンシップの受け入れ

工場見学を通じて、近隣の学校等に学習の場を提供しています。2025年度は、更北工場（長野市）、高丘工場（長野県中野市）、千曲工場（長野県千曲市）にて地元学生の工場見学を受け入れ、実際の「ものづくり」を目で見て体感してもらいました。

また、当社では国内拠点をはじめ、海外拠点であるSHINKO ELECTRONICS (MALAYSIA) SDN. BHD. (SEM)（マレーシア）においても地元学生のインターンシップを受け入れており、次世代を担う学生の「職業観確立・適性発見」の有効な足掛かりになるよう、支援活動を行っています。



〔工場見学（更北工場）〕



〔インターンシップ（SEM）〕

教育機関への授業支援

産業界で活躍できる人材育成やキャリア教育を目的とし社員が高校や大学にて講義を行っています。

社員が卒業した母校を訪れて、製造業界の仕事内容や会社概要を説明するとともに、自身の経験を紹介することなどにより、今後の進路選択に役立てていただける機会となっています。



〔高校生のキャリア教育支援活動〕

公益財団法人北信奨学財団の運営サポート

公益財団法人北信奨学財団は当社の創業者・光延丈喜夫元社長が取締役を退任した際の退職金と保有していた当社の株式を寄付し、これを基金として設立されました。

光延元社長の「ハイテク立県はまず人材育成から」という信念のもと、長野県出身の理工・医療系の大学等の学生、および長野県内にある理工・医療系の大学等の学生（留学生も含む）を対象として、これまで延べ646名に奨学金の支給を行っています。

当社は北信奨学財団の事務局として、運営に協力しています。

